

## 令和2年度評価まとめに対する意見への対応状況一覧

中柱	対象	意見内容	対応
1-(1)	最終評価 p. 2	2段落目に、「今後は、イベント等を中止するのではなく」とあります。やはり、コロナと共生しながら様々な事業を考えていくという意味合いで、「今後は、ウィズコロナという考えのもと、イベント等を中止するのではなく」という具合に、「ウィズコロナ」という表現を用いたらどうかと考えています。	反映
2-(1)	最終評価 p. 14	事務局による一次評価と本委員会による最終評価の記載内容が大きく異なるので、気になりました。 事務局による一次評価はボランティアコーディネーター向け研修の内容で、最終評価は15ページ以降の各支援策についての評価となっているようなので、繋がり具合がどうなのかと思いました。	反映
3-(1)	最終評価 p. 24	最終評価や25ページの支援策15にも記載のある「重層的な支援体制整備事業」については、各自治体の任意事業ということで、なかなか手が挙がらない状況があると、前回の委員会でお話があったかと思います。「後方支援を進める必要がある」よりも、もう少し何か踏み込んだ支援ができないと、絵にかいた餅に終わってしまうのではないかという気がします。 立候補する自治体をどう増やしていくのかという支援策を本来は私たちが議論しなければいけなかったところですが、あまりに当たり前すぎる内容が書いてあると思いました。	反映
		住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅登録事業について、目標を上回る登録ができたことは評価できるものの、地域では「重層的支援体制」が必要な「生活困窮分野」の対象者が抱える生活課題の要因の一つとして「住宅問題：家賃、家屋管理など」がまだ多く見受けられます。 生活基盤としての「住まい」への取組は、人のライフステージに沿い、また障がいや加齢という誰もが直面する心身状況の変化に伴う「生活スタイル」に適した「生活の場＝環境」として不可欠です。 今後の課題と対応として、高齢社会の象徴である「空き家」問題も視野に入れながら、既存賃貸住宅のみならず、地域にある「空き家等住宅」を必要な対象者に、安価に提供できる仕組みも含め検討することも必要と考えます。障がい者支援（精神障がい者地域移行や生活定着センターとして）において有効に活用できる共通の社会資源と考えます。	反映

	一次評価 p. 24	<p>地域生活へ移行された方々のサービスはどういった種別の施設なのでしょう。高齢化により移行しにくい人も増加しているので、ただ単に人数だけではなくて、どういう施設に、どういう方々が移行できたのか、という記載があった方が良くと思います。</p>	反映
		<p>次に繋がるものということで、「目標には達しなかった」という評価で終わってしまうのではなく、なぜ達成しなかったのかという原因や課題に触れておくことで、次の対応が見えてくると思います。なぜ目標値に達成しなかったかという部分を加えると良いと考えます。</p>	反映
3-(3)	最終評価 p. 32	<p>生活困窮者への相談体制をどうするかという点は本当に大きな課題だと思うので、1行目の「相談体制等の確保」については、単なる確保よりももう少し踏み込んだ記載が必要ではないでしょうか。</p> <p>相談体制が逼迫しているところも多くありますし、少し前までは断らない相談体制などと政策的に打ち出されつつも、困難なケースは社会資源に結びつかないまま滞留しているという状況もあるので、そのような実態を踏まえて、単なる「確保」というよりは、「あるべき相談体制がつけられるような支援」という具合に踏み込んだ記載をすべきではないかと思います。</p>	反映
		<p>本当にコロナウイルスが蔓延してから、自殺者が増えています。統計によると、自殺に至ったほとんどの人たちが相談窓口に行っています。しかしながら、それでも自殺に至ってしまう人たちが非常に多いところでは、やはり身近なところでそれをキャッチする伴走支援等を広げていくことが非常に重要です。そのことを地域福祉支援計画には記載しなければいけないと思います。</p> <p>「専門機関の相談機能だけを高めていく」とも読める記載は、やはり良くないと思いますし、事実、身近なところで市民も含めた支援体制、相談、具体的な食支援や学習支援等に分けていない寄り添い方があることによって、救われている人たちがたくさんいます。また、それは当事者だけではなくて、世帯支援や家族支援だったりすることもあるので、やはりここが少し不足しているのではないかと思います。</p>	反映
		<p>事務局による一次評価に、「子ども支援員によるアウトリーチ支援の効果」ということが記載されていて、対面での支援が難しかった時期に、感染防止を徹底したうえで実施した事例が挙げられています。その下には、「支援の蓄積を事例集のような形でまとめ、支援に活用していく方針である」と記載されていますが、これを受けての本委員会による最終評価についても、やはり成功例を具体的に示して広げていく必要性という旨を記載していただけたらと思います。</p>	反映